

第 64 回国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール中央大会 国際連合広報センター賞を受賞

10月23日(月)、東京の国連大学で行われた第64回国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール中央大会において、本校の**大原葵さん(文科2年：宮崎第一中学校出身)**が**国際連合広報センター賞**を受賞しました。

この大会は、各県の予選及び書類審査を突破した全国の高校生(大原さんは先の「第36回小村寿太郎侯顕彰弁論大会」にて最優秀賞を受賞し、本県代表に選出)が、人権や国連の役割について主張するものです。自らの国際支援の経験を述べる参加者が多く、ハイレベルな大会でしたが、大原さんもこの夏参加した本校のフィリピン研修の経験から学んだ、貧困地域の人権を守るためには各国のパートナーシップによる生活インフラの整備が欠かせないとの主張を述べ、見事受賞に繋がりました。

フィリピン研修や大会参加者の高校生の主張を聞いたことで、益々国際貢献への意志が高まったようです。今後のさらなる活躍に期待しています。



表彰式後の記念撮影(2列目・左から2番目が大原さん)

